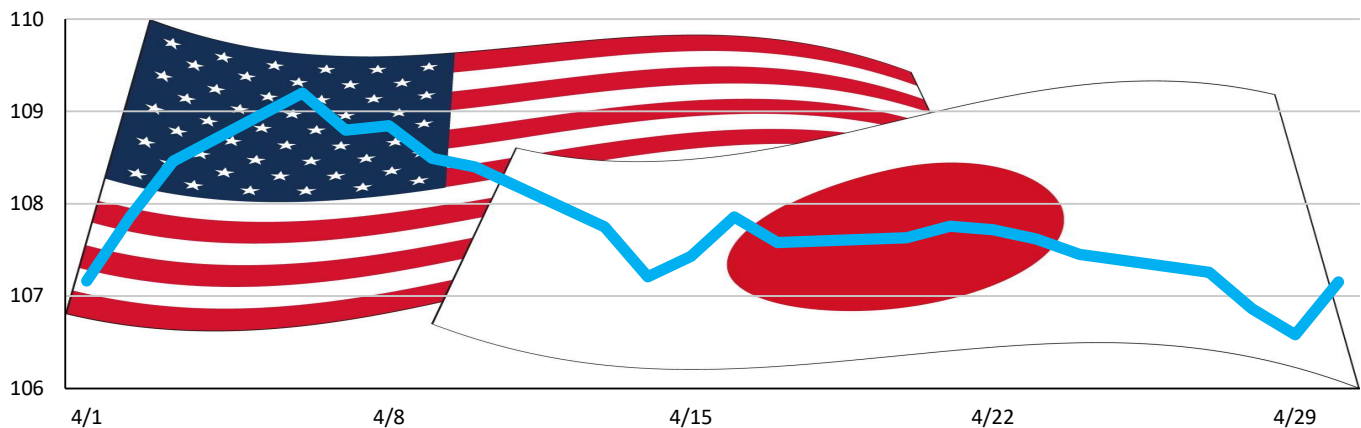


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 4月のドル円相場は109円前半～106円半ばで推移。米国内で新型コロナウイルス感染者数増大を受けてドル円は107円割れとなったが、トランプ大統領の新型コロナ対策及び経済対策への期待感が先行し、NYダウが歴史的暴落に対して半値以上戻したことで、ドル円も109円台を回復した。その後、新型コロナがもたらす経済への悪影響を懸念した動きとなったが、ドル円は107円台を中心に推移。月中にWTI原油先物が暴落、史上初のマイナス価格となり、NYダウも1200ドル以上急落、国際商品市場も原油価格に引っ張られ軒並み急落したが、ドル現金化による需要の高まりで買い支えられ、他のマーケットほどの動きにならなかった。月末にかけて徐々にドル売りが進行したものの、各国中央銀行がコロナ対策は何でもやる姿勢をみせたことで、ドル売りに一旦歯止めがかかった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: 新型コロナウイルスが世界中に広がり、マーケットは世界経済が停滞するリスクを確認しながらも、特に原油価格がマイナスとなったことは衝撃だった。経済活動が停止し、原油需要が大幅に減っている中で、原油貯蔵能力も限界に近く、OPECが合意した減産効果が表れるまでは、今月も原油価格について警戒をしておかなければならない。さらにコロナウイルスの起源に関して、米中の対立も表面化しており、コロナ問題が落ち着くまではリスク回避の動きが継続していきそうだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
5 / 18 (月)	8 : 50	J P	日GDP速報値	☆☆☆☆
5 / 26 (火)	23 : 00	U S	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
5 / 28 (木)	21 : 30	U S	米GDP改定値	☆☆☆☆
6 / 4 (木)	20 : 45	E U	欧州中央銀行 (E C B) 政策金利	☆☆☆☆
6 / 5 (金)	21 : 30	U S	米雇用統計	☆☆☆☆☆
6 / 9 (火)	18 : 00	E U	欧州GDP確定値	☆☆☆☆
6 / 10 (水)	21 : 30	U S	消費者物価指数 (C P I)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。